

汚染状況調査

つくば市は、平成23年12月に放射性物質汚染対処特措法に基づく『汚染状況重点調査地域』に指定されたことに伴い、同年12月から平成24年2月にかけて、汚染状況調査（空間線量率調査）を実施しました。

調査の結果、筑波（一部を除く）・大穂・豊里地区の空間線量率は、自然放射線量か、それを少し上まわる程度でした。また、谷田部・桜・荃崎地区の一部で $0.15 \mu\text{Sv/h}$ 以上 $0.23 \mu\text{Sv/h}$ 未満、荃崎地区の一部（下図の赤色及びピンクの地域）で $0.23 \mu\text{Sv/h}$ 以上 $0.3 \mu\text{Sv/h}$ 未満の空間線量率が確認されました。なお、 $0.23 \mu\text{Sv/h}$ 以上の地域は、除染実施計画で『除染実施区域』として位置づけ、子どもの生活環境を優先して除染を実施します。

放射性物質汚染対処特措法に
基づく汚染状況調査結果
調査日：H23.12.26～H24.2.10

